

使用説明書

U2-light



panthera
panthera

Instructions for use U2-light panthera

内容

使用目的	1ページ
調整	4ページ
メンテナンス	7ページ
安全性	9ページ

使用目的

U2ライトは、車椅子の経験が豊かでアクティブなユーザーのために設計されました。転倒防止装置が付いていませんので、キャスト上げが容易にできる能力が必要となります。

U2ライトは、操作が非常に楽なことはもちろん、持ち上げたり車での運搬も簡単にできます。デザイン、選び抜かれた付属品、オプション部品、すべての面でアクティブユーザーに満足していただける車椅子です。

車体の外寸法は小さく、現在の市場で最も軽い車椅子です。

ユーザーおよび取扱店の皆様には、パンテラの特徴を最大限に活かすために、快適な座り方で、最大限の運転能力を引き出し、最も操作しやすいバランスになるよう車椅子の調整していただく必要があります。

この説明書の9～10ページにはあなたの安全に関する重要な情報が書かれていますので、必ずお読みください。

Instructions for use U2 light panthera

注文の車椅子が間違いなく届けられたか、以下の点をチェックしてください。

- 車椅子の幅：座席の外寸を測定してください。
座幅は36, 39, 42cmのいずれかです。
- バックレストの高さ：バックレストパイプを測定してください。
注文されたバックレストの寸法より0.5cm短くなっています。
例えば、高さ30cmを注文した場合、パイプの長さは29.5cmです。
- 部品：注文したすべてのパーツが入っていることを確認してください。
- U2ライトには2種類のモデルがあります。
通常のバランスモデルと軽量バランスモデル(U2ライトL)です。注文した型かどうか確認してください。
後車軸とフレームパイプの端との間隔は、U2ライトが75mm、U2ライトLは100mmです。
(図1参照)
- U2ライトのバランス調整は車軸位置がU2の初期設定と同じ75mmです。(図2参照)
U2ライトLの車軸は、U2ライトより25mm前に出ています。(図3参照)

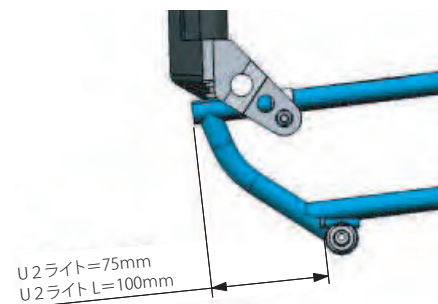


図1. U2ライトとU2ライトLの違い

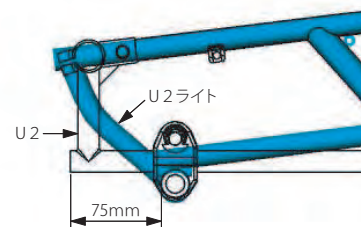


図2. U2とU2ライトの違い

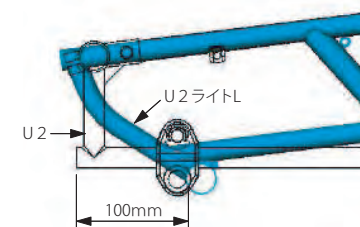


図3. U2とU2ライトLの違い

Instructions for use U2-light panthera

機械部品のチェック

チェック項目:

- ・ 後輪車軸がケーシングにスムーズに出入りするか?
- ・ 後輪を差し込んだ後に、ハブの中心のボタンが外に戻るか?
- ・ 四輪のすべてが接地しているか?
- ・ キャスタフォークが滑らかに回転するか?
- ・ バックレストが前に容易に折りたためるか?

以上のチェックで異常が見つかりましたら、車椅子をご使用になる前に取扱店にご連絡ください。

組み立てと分解

車に積み込む時には、駆動輪を取り外し、バックレストを前に折りたたんでください。

駆動輪の取り外しは、ハブの中心のボタンを押しながら駆動輪を引っ張ります。取り付けは、ボタンを押しながら、軸受けの穴に車軸を差し込みます。車輪を奥まで差し込み、外に引っ張って駆動輪が固定されているか、ボタンが元に戻るか、確認してください。(図4参照)

U2ライトにはバックレストのロック装置がついていません。クッションを外してバックレストを前に折りたたんでください。

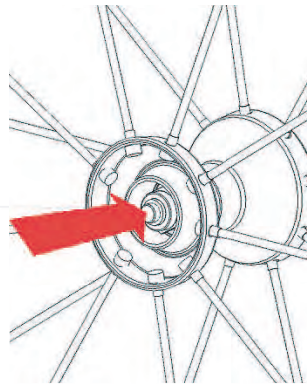


図4. ハブの中心にあるボタンの確認

Instructions for use U2 light panthera

調整・調節

あなた自身の体に合った姿勢で座り、最大限の運転能力を引き出すためには、下記の順序で正しく調整・調節することが重要です。

まず最初に、座る姿勢に椅子を合わせることです。その後に最も操作しやすい位置のバランスを調整します。

座る姿勢を変えたときは、それに合わせてバランスも調整しなおさなければなりません。

次の順序に従って進めてください。

- 1) 座面シートの張り
- 2) フットレストの高さ
- 3) レッグベルトの張り
- 4) バックレストの角度
- 5) バックレストシートの張り
- 6) 重心位置 (バランス)

1) 座面シートの張り(図5参照)

シートの後方は、座面下のマジックテープの付いたベルトを締めたり緩めたりして調節します。これにより座面高を約2cmの範囲で調節できます。



図5. 座面シートの張り調節

2) フットレストの高さ(図6参照)

フットレストは上下に調整することができます。フレームの正面のフットレストを支えている2つのねじを取り外します。ねじを緩めるには、3mmの六角レンチを使います。19mmスパナをパイプに当てハンマーで叩きながら樹脂製キャップ(A)を押し下げてください。フットレストの高さは5段階(20mm間隔)に調整できます。足裏がフットレストに付くと同時に、腿が座面(クッション)に付く高さに調節してください。

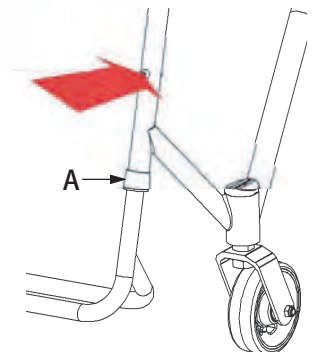


図6. フットレストの高さ調整

Instructions for use U2-light panthera



図7. レッグベルトの張り調節

3) レッグベルトの張り(図7参照)

張りの調節が可能で、フットレストに乗せる足の前後位置が変わります。
必要に応じて調節してください。

4) バックレストの角度(図8参照)

まず最初に13mmスパナを使ってロックナット(1)を緩めてください。次に、5mmの六角レンチで調整ねじ(2)を緩めたり締めたりして調整することができます。調整ねじを緩めると、バックレストは前に傾き、締めると後ろに傾きます。バックレストのフレームが歪まないように、左右の調整ねじはを等しく調整しなければなりません。それを確かめるには、バックレストを起こし、両方の調整ねじがフレームに接していることをチェックします。適切な角度に調整したら、乗って試してみます。乗り心地が申し分なければロックナットを締めてください。

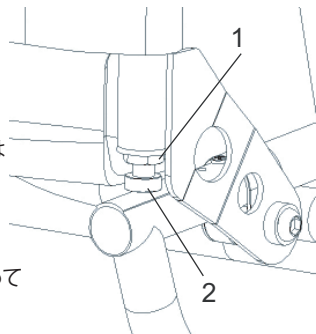


図8. バックレストの角度調整

5) バックレストシートの張り

背シート裏のマジックテープの付いたベルトを締めたり緩めたりすることにより、シートの張りが調整できます。

バックレストには座面シートの裏にマジックテープで固定できるフラップ(バックレスト下端部のシート)が付いており、これを前後に動かすことで、背シートの下部分(シートバケット)を最もよい張り状態にすることができます。

この背シートを調整することで、背中の形に合った、背中の下部を心地よく支える位置が決められます。

最初に、ベルトを緩め、椅子の奥深くお尻を入れてください。そして、しっかりサポートされるようにベルトを締めます。

もし奥深く座れていないという感じがしたら、それは背シートのフラップが前方に固定されているからです。フラップを緩めて後ろにずらしします。

Instructions for use U2 light panthera

6) 重心位置(バランス)

U2ライトは駆動輪の車軸が固定されていますので、車軸に合わせて身体を動かしバランスを調整することになります。バックレストの位置は3段階(10mm間隔)に調整できます。バックレストが後ろになる程、「後部重心」の車椅子ということになります。つまり車椅子のバランスが前方がより軽くなり、駆動輪により多くの重量がかかることを意味します。操作が楽になり、縁石や階段があるときにキャスト上げが容易になります。ただし、バランスが後ろ過ぎると、後方に転倒する危険が生じますので注意が必要です。

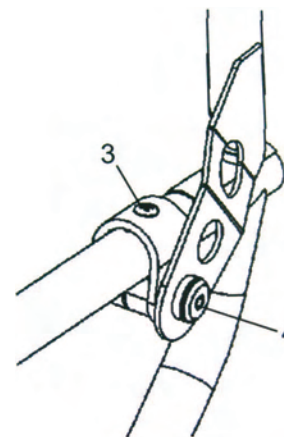


図9. バックレストの前後位置調整

バックレストの前後位置調整(図9参照)

1. ストップねじ(3)を抜きます。
2. クランプとバックアタッチメントに通したボルト(4)をゆるめます。
3. クランプを前後に動かします(バランスをより軽くしたいときは後ろに、重くしたいときは前に)。
4. 後ろフレームの3つの穴からひとつを選びストップねじを締め付けます。
5. ボルト(4)をクランプに通して締め付けます。



図10. ブレーキ

ブレーキ

座面の下に取り付けられています。(図10参照)
斜め前に引っ張り出し、次に駆動輪の方へ引くとブレーキがロックされます。

Instructions for use U2-light panthera

メンテナンスと手入れ

パンテラは実際にはメンテナンスがいらないように作られています。

ただし、定期的に点検していただきたい個所が 2、3 あります。

(もし砂や海水等の影響を受けるような環境で使用する場合は、最低月に 1 度は掃除と点検をしなければなりません)

毎月おこなった方がよいこと

- ・ 車体はカーシャンプーまたは食器洗い洗剤および湿った布できれいにしてください。
汚れがひどいときは、脱脂剤 (ベンジンなど) を使用します。
掃除の後は潤滑油 (CRC5-56 など) を可動部分すべてに注油してください。
- ・ キャスタ車輪とフォークの間をきれいにします。
髪の毛やほこりがつきやすくベアリングを傷める心配があります。
10mm スパナでボルトをおさえながら、10mm スパナでナットをゆるめます。
ボルト、続いて車輪をはずします。
キャスタ車輪とフォークの間のワッシャーをきれいにし、ベアリング部を布切れで拭き、最後に組み立てます。
- ・ 駆動輪の車軸に注油してください。
駆動輪をはずし、車軸の上に数滴注油します。
雨の日に外出したとき、砂や海水の中、雪解け道を走行したとき、普段車輪を取り外すことがない場合は、注油の回数を多くしなければなりません。
- ・ 空気圧について
タイヤの空気は自転車用ポンプで入れることができます。自転車用ポンプを米式にセットして下さい。(自転車用のポンプは米式と英式兼用が一般的です。)
自動車のバルブも米式なので、ガソリンスタンドでも容易に空気を入れることができます。
800kPa (≒ 8kg/cm²) まで入れることができます。(通常は 650~750kPa 入れてください。)
- ・ 全てのねじとナットが確実に締まっているかどうか点検してください。
- ・ その他、異常な箇所がないか点検してください。
もし損傷に気づいたら、すぐに取扱店にご連絡ください。

Instructions for use U2 light panthera

半年に 1 度しなければいけないこと

- ・ ブレーキの接合部に数滴注油してください。
- ・ バックレストの接合部の軸部に注油してください。
10mm スパナでボルトを固定し、10mm スパナでナットをはずします。
- ・ 座面シート、背シート、クッションカバーは必要なら 40℃ くらいの湯で洗ってください。

保証期間と耐用年数

パンテラの耐用年数は、使用頻度とメンテナンスの状態によります。

保証期間: 車体 (シャーシフレーム) については 7 年間。その他の部分は 1 年。ただしタイヤ等の消耗品は除きます。

耐荷重: 100kg

Instructions for use U2-light panthera

安全にご使用いただくために



パンテラは可能な限り楽に操作できるように開発されていますから、あなたの動きに即座に反応して動きます。転倒防止装置がついていない場合に、もし操作を誤れば転倒してしまう可能性もあります。車椅子というのは、元来転倒する可能性をもっているものですから、転倒が起こるかもしれない状況をすべて予測し、警告を出すことはとうていできません。大切なのは、ご自身のパンテラをどんどん使って試していただき、操作テクニックを磨いていただくことです。

もし車椅子の操作テクニックについて疑問、質問があれば車椅子の処方をした人かセラピストにご連絡ください。それができないときは、パンテラをご購入いただいた取扱店までお気軽にお問い合わせください。パンテラ社は日常使用の車椅子に関する100年以上の経験を基にお答え致します。

安全にご使用いただくために、重要なポイントについて以下にまとめました。

バランスと転倒について

- * 車椅子が転倒しやすいかどうかを決定する重要な要素は、バックレストの位置と角度、背シートの調整です。調整をしたあとで、実際に車椅子のバランスが安心できるものかどうかチェックしてください。もし不安だと感じたら、バックレストを前に移動させてみてください。
- * 転倒につながる恐れのあるその他の要素は、バックレストにバッグをかける時、バックレストによりかかったり背伸びをする時、消耗したタイヤをそのまま使う時、タイヤの空気圧が減ったままの状態で使用するとき、路面の突然の変化、これらは転倒につながるリスクのある要素です。

注意! 車椅子の調整の仕方によっては傾斜面で転倒することがあります。車椅子が不安定だと感じたらバックレストを前に動かしてください。

ブレーキ

- * 立ち上がることができる人は、ふくらはぎがブレーキに当たりブレーキが解除されないよう十分に気をつけてください。
- * 空気の抜けたタイヤや消耗したタイヤではブレーキが効きにくいことを知っておいてください。
- * ブレーキは停車時に使用するもので、動いている最中にかけるものではありません。

Instructions for use U2 light panthera

座位について

- * 間違った座位は褥瘡の原因になることもあります。正しい座位がとれているかどうか自信がなければ、すぐにセラピストにご相談ください。
- * サイドガードが大腿部を強く圧迫していないかチェックしてください。強く圧迫しているときは、座幅が狭すぎるか、サイドガードの調整が必要になります。このことも褥瘡を引き起こす原因になります。
- * シートは必ずクッションを使用するように設計されています。

操作について

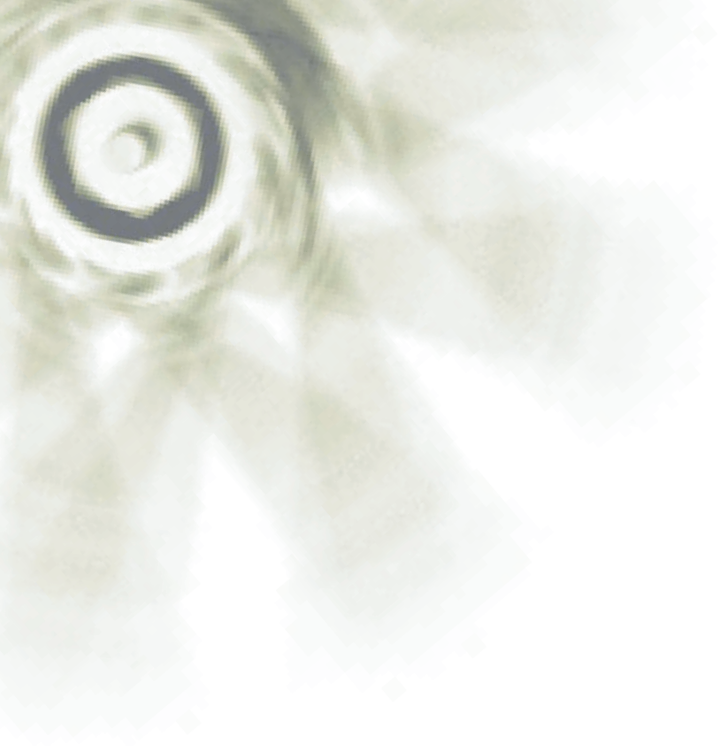
- * フットレストの最下部と地表の距離が40mm以下の場合、フットレストが地表の隆起したところにぶつかり、体が前に投げ出されることがあります。

移乗／持ち上げ

- * パンテラは軽量なので、ブレーキがかかった状態で横移乗しようとする、車椅子が横方向に動いてしまうことがあります。不安を感じるときは、セラピストと一緒に練習してください。
- * 車椅子を持ち上げる場合には、必ずフレームを持って持ち上げてください。(図11参照) バックレストやハンドリム、駆動輪などフレーム以外の部分を持って持ち上げるのは絶対にやめてください。



図11. 持ち上げるポイント



Panthera Japan

本社

〒311-4164茨城県水戸市谷津町細田1-8
TEL.029-257-2522 FAX.029-257-2348

☎0120-196013

URL <http://www.panthera-japan.jp>
e-mail info@panthera-japan.jp

■取扱店記入欄

※製品の仕様及びデザインは性能改善のため、予告なく変更することがあります。